

(別紙2)

第3回「輸送の安全に係るリスク管理モデル構築検討会」の結果について

今年度、国土交通省では、「事故・ヒヤリハット情報の収集・活用の仕組み」(以下「リスク管理」という。)について、運輸事業者におけるこれらリスク管理の取組みをサポートするため、「輸送の安全に係るリスク管理モデル構築検討会」を設置し、運輸事業者(神奈川中央交通(株)、政和自動車(株)、アサヒロジスティクス(株)の計3社)の協力のもと、リスク管理のモデル開発を行うこととし、調査研究を進めてきた。

今次第3回の検討会では、今年度の調査研究を総括し、下の図のようなリスク管理の進め方(案)を策定したところである。来年度引き続き、当該進め方案をもとに、各事業者において具体的な取組みを行い、より実効性を高めていくこととしている。

